

クマの出没に注意！

兵庫県内では、今年度5月末現在、目撃・痕跡情報は平年並みとなっていますが、生息域の拡大により、これまで比較的目撃の少なかった地域であっても、繁殖期のこの時期にオスのクマが広域で徘徊することから、注意が必要です。



また、6月23日には丹波市春日町でもクマによる人身事故が発生しています。

ツキノワグマは自分から人間を襲ったりはしませんが、偶然に山道で遭遇したりすると驚いて自己防衛のために人間を攻撃する場合があります。

また、子グマが側にいる場合やエサを食べているときなどには、子グマや自分のエサを守るために人間を攻撃する場合があります。

ツキノワグマが生息する地域へ出かける場合には、以下の注意事項を守り、ツキノワグマに出会わないようにご注意ください。

<注意事項>

- 1 **森林や森林の近くに行くときは、音の出るものを携行し、極力複数人で行動しましょう。**

山や森林付近に出かけるときは、鈴やラジオなど音の出るものを身につけ、人間の存在をクマに知らせましょう。

特に、雨の日や川沿いの場所では人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいの
で注意してください。



- 2 **人里でも夕方から朝までの外出は、特に注意しましょう。**

クマは夕方から早朝の間に人里へ出没する可能性が高く、この時間帯には桑や山桜（秋は、柿や栗）等実のなる木の近くなど、エサ場となる場所に近づくのは止めましょう。

- 3 **ヤブや草むらなど、見通しのきかない場所には近づかないようにしましょう。**

人家や農地周辺でヤブや草むらのために見通しのきかない場所には、クマが潜んでいる場合があるので、出来るだけ近づかないようにしましょう。

※もしクマに出会ってしまったら、大声を出したり、走ったりすると、かえってクマを興奮させるため、落ち着いて刺激しないように、その場からゆっくり立ち去ってください。